

詳しい情報はWEBで！！「遠賀川河川事務所」のHP版の「流域だより」には、より詳細な情報と、たくさんの写真も掲載されています。

※検索画面において、**遠賀川流域だより** **ダウンロード** で検索してください。

遠賀川流域 団体紹介

龍王・山・里・川の会

～美しい里山の風景を残したい～

遠賀川は恥ずかしい事に、九州の一般河川で最も水質が悪い河川と言われています。「龍王・山・里・川の会」の皆さんは、「自分たちの地域を流れる建花寺川だけでも、遠賀川に悪い影響を与えないように、源流の里山の保全や、竹林整備を通して地域の方の理解を得ながら川の水質浄化のための啓発を進めたい」と考え、会を立ち上げました。

～「龍王・山・里・川の会」の主な活動実績～

①川の水質改善

会では定期的に実施している河川清掃活動の際に、少しでも川の異変を見つければ、その原因を調査し改善に向けた取り組みをしています。具体には、建花寺川に流れこむ白濁の排水を見つけ、汚染源を調査し（多くは法規制のかからない中小の飲食業・工場等が排出するケースが多い）、水質改善の指導（お願い）を行い、成果をあけています。

②環境教育の実施（具体例）

地元鎮西中学校の1年生場合では、「地域の環境学習」をテーマに講演した後、荒廃した里山に植樹するためのクヌギ・アラカシ等の実を拾い苗床作りを、二瀬中学校1年生の場合では、「地域の道路を花いっぱい」活動に参加。子供の為の活動は今後も積極的に取り組む予定だそうです。

③環境フェスタの開催

環境に関する3日間のフェスタを開催。そのメインとなるのが、建花寺川が流れ、美しい田園風景が広がる「里山を巡るウォークラリー」です。この風景を肌で感じる事が、環境意識を高める特効薬となります。

最後に、会では誰でも参加できる取り組みを目指し、専門家や有志による講演・発表を行う定例（勉強）会も月1回の割合で開催しています。更に同様の活動をさせている団体とのネットワーク作りを進めています。協力できる団体のみなさまはご連絡ください。



水質調査



水生生物調査



ウォークラリー

遠賀川流域だより

第17号
2011年1月

～中間ほたる・メダカの会～

～ほたるやメダカはどこに行ったの？～

中間市を流れる堀川・曲川・山田川（遠賀川支流）では、その昔、たくさんのほたるやメダカが生息していました。「中間ほたる・メダカの会」の皆さんは、いつの間にか消えてしまった「ほたる」「メダカ」の再生・保護活動に取り組まれています。会は、「事業部会」「ほたる部会」「メダカ部会」の三部会に分かれ、効率よく活動が出来る体制となっています

～清流のシンボル“ホタル”の復活にむけて～

会では、曲川の源流地“曲川源流水辺の里”で活動を開始。水源が湧き水のため、年中14～15℃と常に安定した水温を保つ好条件の場所です。2006年1月に北九州市の「香月・黒川ほたるを守る会」の協力でゲンジボタルを入手。卵からほたるの飼育を始めました。同年7月、生まれた幼虫は順調に成長、2007年5月には見事に飛翔（ピーク日：約2000体）し、中間市におけるほたる復活の第一歩が印されました。

また、2008年5月には約900体、2009年には約600体が飛翔し、大きな喜びとなりました。さらに、2009年からは“曲川源流水辺の里”以外の、かつてほたるが飛んでいた中間市2カ所の水路においてほたるの幼虫がテスト放流され、更なる広がりを展開しています。

～絶滅寸前！？“メダカ”の復活にむけて～

メダカ部会では、中間市の河川や池・水路に生息しているメダカの保護活動を行っています。生息場所や生息数等の実態調査を進めるとともに、その環境保護やメダカ遺伝子の乱獲防止（移動禁止）の啓発活動も実施しています。

さらに市内の小学校向けに「出前メダカ教室」を開催。中間市中央公民館においては、メダカやタナゴなど、曲川の水辺に棲んでいる魚の水槽を展示し、世界一小さな水族館として地域の皆さんに親しまれています。

～会の本当の目標とは～

「“ほたる”や“メダカ”の育成・保護は、会の目標ではなく、あくまでも地域の環境を守るための手段の一つだ」と断言されました。身近な活動を通じて、最終的には自分達のふるさとを守る、美しくする事が第一目標なのです。



水源はなんと湧き水！



メダカ&ホタル



遠賀川流域活動報告

◆田川市◆ みんなの手で川をきれいに！ 清流ルネッサンスキャンペーン開催 10月8日(金)

遠賀川は清流ルネッサンスⅡ(第2期水質改善緊急行動計画)の選定河川です。この清流ルネッサンスⅡで設定された平成24年度の水質改善目標(COD・透視度)の達成に向けて、10月8日(金)田川市において、田川市立後藤寺小学校4年生50人とPTA、住民団体など90人が参加し、「水エコしよう！中元寺川清流ルネッサンスキャンペーン」が開催されました。

「みんなの手で」「水エコ～川を汚さないために私たちができること」をキーワードに、田川市内を流れる遠賀川の支流中元寺川の水質と汚濁の原因を調べ、子供達が一番身近な川を通じて川の現状を知り、環境問題は自分達の周りでも存在し、川の大切さ、水の大切さを知る貴重な取り組みとなりました。

現場では、水の透明さを計る機材(透視度計)を実際に作成し透明度を調査したり、川の水を直接汲んで水質を調査したり、中元寺川に入って水生生物の調査をしました。

実際に水の中に入ってみると、ゴミが沢山川の中に沈んでいたり、川の水が汚い事を肌で感じられたり、水の透明度が思った以上に低かったりなど、子供達は少なからずショックを受けていました。

続けて行われた「一滴の牛乳で水道水の水質がとて悪くなる実験」も衝撃を受けた様子で、イベントの最後に実施したアンケートには、ほとんどの子供達が「川を汚さないために努力したい」と書かれており、今回の学習を通じて小さな子供の心の中に環境意識が芽生えたと感じました。



詳しい記事を読む

◆流域全体◆ ～遠賀川ふるさと清掃運動会2010～

今年も～遠賀川ふるさと清掃運動会2010～が流域内の各地で開催され、16団体、4,600人を超える方々が河川清掃に参加されました。

さて、「ふるさと清掃運動会」が始まったきっかけですが、著名人からなる「富士山大好き！百人の会」が“富士山から日本を変える”を合言葉に、ふるさとの山、川、海、湖沼、街など身近なところから環境アクションを起こそう！と2007年、全国の市民、学生、企業で働く人たちに呼びかけました。それから毎年10月を集中月間に、もうひとつの運動会として全国各地で開催されています。実行委員長は王貞治さん。実行委員会は市民団体、企業、学生ボランティアからなっています。

企業は協賛社としてだけではなく積極的に行動しています。すべての関連会社へ呼びかけ全国60社4000人が会社周辺や街、公園で活動した企業や新入社員を総動員して研修に役立てている企業もあります。

この遠賀川流域においても、もっと環境を良くしようと、多くの住民が賛同され、取り組まれています。

まず自分の周りから変えていくということから始め、広がっていくことで人間も動物もいい環境の中で生きることができるのではないのでしょうか。

次のページで、具体的な取り組みを一つだけ(12)「We Love 穂波川」)をご紹介します。



番号	清掃場所・名称等	主催者	実施日	参加人数(人)	ゴミの量
①	芦屋・若松海岸	NPO法人遠賀川流域住民の会	9月19日(日)	550	1,200kg
②	堀川一斉清掃(折尾地区)	堀川まちおこし実行委員会(折尾地区)	10月3日(日)	274	2,000kg
③	中間市 曲川	曲川を守る会	10月31日(日)	200	340kg
④	堀川一斉清掃(中間地区)	堀川まちおこし実行委員会(中間地区)	10月9日(土)	35	-
⑤	北九州市 木屋瀬河川敷	木屋瀬遠賀川河川愛護団体	10月17日(日)	150	150kg
⑥	北九州市 笹尾川水辺の楽校	笹尾川水辺の楽校運営協議会	10月4日(月)	20	草刈り・清掃
⑦	福智町 彦山川	福智町ボランティア連絡協議会	10月9日(土)	80	40袋
⑧	香春町 金辺川河川敷周辺	金辺川を楽しむ会	11月20日(土)	22	28袋
⑨	嘉麻市 山田川	山田川クリーン作戦実行委員会	10月10日(日)	180	700kg
⑩	嘉麻市 大隈橋の上下流	I LOVE遠賀川in嘉麻実行委員会	10月10日(日)	100	200kg
⑪	嘉麻市 いなつき親水公園	I LOVE遠賀川in稲葉実行委員会	10月10日(日)	50	150kg
⑫	飯塚市 穂波川	We Love 穂波川(穂波ボランティア等連絡協議会)	10月31日(日)	300	750kg
⑬	飯塚市中之島一帯	I LOVE遠賀川実行委員会(飯塚市)	10月10日(日)	2,000	2,000kg
⑭	小竹町 遠賀川河川敷	「小竹に住みたい」まちづくりの会	11月28日(日)	52	15袋
⑮	宮若市 犬鳴川一斉清掃	宮若市環境クリーン作戦	11月21日(日)	440	5,840kg
⑯	宮若市 犬鳴川河川公園	犬鳴川みどりの会	11月28日(日)	160	清掃・植栽
		16団体	計	4,613	



詳しい記事を読む

遠賀川流域活動報告

◆飯塚市◆

～遠賀川ふるさと清掃運動会2010をもう少し詳しく説明します～
⑫「We Love 穂波川」 10月31日(日)

前ページで紹介した「遠賀川ふるさと清掃運動会2010」ですが、今回は、その中の取り組みの一つ
⑫「We Love 穂波川」をご紹介します。

今回紹介する穂波川流域の住民のみなさんは、「美しく住みよい地域を作る」をスローガンに、穂波ボランティア連絡協議会を発足し、「We Love 穂波川」という名称で、穂波川河川敷の清掃活動を行っています。

今年は、10月31日(日)に開催され、幼児から老人会の方々まで、老若男女、多くの方々がボランティアとして参加され、穂波川を上流・下流に分かれてゴミ拾いを行いました。

会では、「環境問題は永遠のテーマ。この問題を解決するには親から子へ環境の大切さを伝える事がなによりも大切。たくさんの親子連れに参加してもらいたい」と話されており、家族で楽しめるように、子供達が喜ぶ“ボンボン菓子”のテント”や、お母さん達が喜ぶ“バザー”も併催され、ゴミを拾うばかりではなく、楽しさも演出されていました。



詳しい記事を読む

◆直方市◆ 遠賀川の河川敷はマラソン(ジョギング)に最適って知ってました? 10月24日(日)

よく整備された遠賀川の河川敷はランニングコースとして多くのランナー達に愛用されています。特に下流部(水巻町)の河川敷では毎日のジョギングはモチロンのこと、毎月一回「月例マラソン大会」が開催され、多くのランナーのホームグラウンドとなっています。主催する「北九州ランニングセンター」では、年中気持ちよく走ってもらおうと、定期的な草刈りや、清掃活動を行い、河川敷は常に美しく保たれています。

そんなマラソン愛好者に愛される遠賀川河川敷ですが、年に2回(秋開催の「のおがた水辺マラソン」、冬開催の「新春マラソン」)フルマラソン大会が開催されます。

市民参加型のフルマラソン大会は、安全性やコース設定等の問題で開催が難しく、大会が開催できる遠賀川河川敷は大変貴重な存在だそうです。今回は、10月24日(日)に開催された「のおがた水辺マラソン」をご紹介します。

コースは直方市にある遠賀川水辺館前をスタートし、上流約5キロ地点にある小竹町御徳橋を折り返し、ハーフマラソンは2往復、フルマラソンは4往復で競われました。今回は上流部でイベントが開催された為、残念ながら短いコース設定となりました。

当日は、朝から雨が降り続くあいにくの天気。それでも697人のランナー達は雨にも負けず、スタート時刻のAM10:00に元気に走り出しました。

大会参加者は、県内外、遠くは北海道からも参加されており、「遠賀川の美しい川面を眺めながら走って欲しい」と、総勢100名程のボランティアスタッフのみなさんが、大会前に清掃活動を実施されたのですが、降り続く雨にランナー達は景色どころではなかった様子。

来年以降もこの大会は続くそうで、来年こそはキレイに整備された遠賀川を眺めながら走ってほしいものです。



雨の中を激走



表彰式です



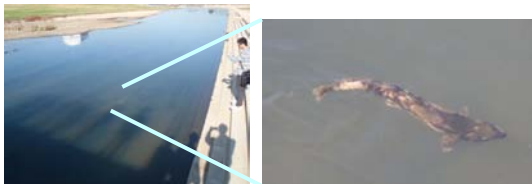
ボランティアのみなさんが支えています

詳しい記事を読む

◆直方市◆ 今年も遠賀川にサケが帰ってきました。 12月1日(水)

12月1日13:44頃、福岡県直方市溝堀にある国土交通省遠賀川河川事務所前の遠賀川で全長約70cmのサケが泳いでいるのを発見し、弱っていたため保護しました。

発見したのは、遠賀川河川事務所管内の施設見学に来ていた中国の技術者の方で、13:27頃、遠賀川で弱々しく泳ぐサケを発見、隣接する遠賀川地域防災施設(遠賀川水辺館)のスタッフに連絡し、すぐさまタモ網とサデ網で生きたまま保護しました。



遠賀川で泳ぐサケを発見!

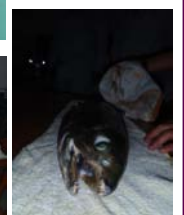


捕まえてすぐですが、あまり動きません。かなり弱ってます



捕獲されたサケはかなり衰弱しており、16:30頃、死んでしまいました。

このサケは、全国でも珍しいサケを神の使いと崇め、祭っている「鮭神社(嘉麻市)」で12月13日に開催される「献鮭祭」に献上する事になりました。なお、「献鮭祭」の様子は次号の流域だよりで紹介いたします。



ついに力尽きたサケ お腹には未受精の卵が! お祭りまで丁寧に保存されます。

※ 遠賀川河川事務所では、遠賀川水系に遡上しているサケの情報を募集しています。サケらしい物体(死骸でも可)を見つけた方は国土交通省遠賀川河川事務所まで情報をお寄せください。連絡先は最終面を御覧ください。

遠賀川はゴミ捨て場じゃない！

遠賀川では、多くの方々がボランティアで清掃活動に取り組んでいる事は今までご紹介したとおりです。しかし、この遠賀川では、今も、いや、この瞬間にも、たくさんのゴミが捨てられています。なかには、ガラス・蛍光灯・釘等、大変危険なゴミまで捨てられています。遠賀川はゴミ捨て場ではありません。こんな悲しい現状、みなさん、どう思いますか？

こんな大きなゴミも捨てられています。



ソファー



テレビ&ビデオ



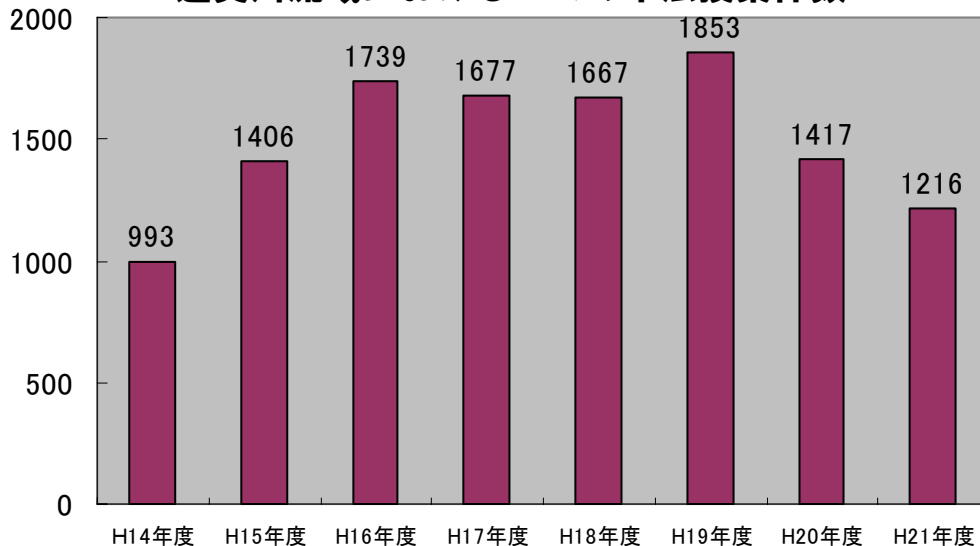
タイヤ



なんとこれはセメント袋！

遠賀川下流の河口堰では、年間約2,000万円のゴミの処分費用が発生しています。

遠賀川流域におけるゴミの不法投棄件数



左の表は遠賀川河川事務所では実施している河川巡視の中で、遠賀川流域に捨てられているゴミを発見した件数です。

実際には、まだまだ多くのゴミが捨てられています。

ペットボトル1本でも、紙くず一つでも川に捨てれば、ゴミは山のように集まります。



←下流に流れ着いたゴミは塵芥収集船（クワガタ号）で収集されます

下流はゴミでいっぱい！（洪水時の写真です）⇒



流域内のイベント等の予定

- ・ 1月23日（日） 川風を受けて、天まであがれタコあげ大会 遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）
- ・ 1月30日（日） MYハザードマップ作成&まち歩き 遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）
- ・ 2月20日（日） 防災セミナー講演会「川内川豪雨災害に学ぶ自助と共助」 遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）

遠賀川流域だより 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 (0949) 22-1830
FAX (0949) 22-2859
HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>